

「博物館・美術館が危ない」公開講演会の案内ほか

公開講演会「博物館が危ない！ 美術館が危ない！
指定管理者制度・公共サービス改革法の落とし穴」の開催（ご案内）

日 時：11月4日（土）13：00～17：00

会 場：東京大学理学部小柴ホール

主 催：日本学術会議

参加費：無料

「簡素で効率的な政府・地方自治体」を目指す市場化テスト（官民競争入札）や指定管理者制度が広く導入される中で、博物館・美術館が、いま大きな危機に立たされています。博物館・美術館は、単純に効率的なサービスという観点からだけで運営されてよいのでしょうか。国公立の博物館・美術館にとって、それを利用する市民にとって「国民の立場に立ったより良質かつ低廉なサービスの実現」とは何なのでしょう。

学術・芸術資料は、人類文化の創造と学術研究の発展に等しく役割を果たす基盤的な文化資源であり、次世代に継承されるべき重要な遺産です。

日本学術会議は、その保存・管理体制が、経済効率優先の対象とされつつある現状に強い危機感を抱いています。公共サービス機関としての博物館・美術館の本質的な役割に焦点を当て、その望ましい在り方を共に探るため、本公開講演会を開催するものです。

プログラム（敬称略）：

開会・メッセージ 日本学術会議会長（予定）
平山 郁夫（画家）

- 提 題 青柳 正規（日本学術会議会員、学術・芸術資料保全体制
検討委員会委員長、国立西洋美術館館長）
- 講 演 前沢 和之（日本学術会議特任連携会員、横浜市歴史博物館
課長）
「博物館と指定管理者制度、現場から見えてきたこと」(仮題)
- 樺山 紘一（日本学術会議会員、印刷博物館館長）
「ミュージアムと人文科学資料」(仮題)
- 馬渡 駿介（日本学術会議連携会員、北海道大学大学院理学
研究科教授）
「博物館における自然科学資料の本質」(仮題)
- 井上 洋一（日本学術会議連携会員、東京国立博物館事業部
教育普及課課長）
「博物館におけるサービスの本質と将来ビジョン」(仮題)
- 白藤 博行（日本学術会議連携会員、専修大学法学部教授）
「博物館・美術館と学術・文化行政の公共性」(仮題)

討論・提言にむけて

- 司 会 前田富士男（日本学術会議会員、慶應義塾大学文学部教授）
- 司 会 木下 尚子（日本学術会議会員、熊本大学文学部教授）
- 前沢 和之
- 樺山 紘一
- 馬渡 駿介
- 井上 洋一
- 白藤 博行

総括・閉会挨拶

木下 尚子

参加申込方法： はがき、FAX または E-mail にて必要事項（氏名（ふりがな）
・年齢・職業・連絡先電話番号・E-mail アドレス）をご記入
の上、以下の問い合わせ先担当宛にお申し込みください。

【お問合せ・申し込み先】

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
TEL:03-3403-1906 FAX:03-3403-6224
E-mail : info@scj.go.jp

- * 定員（150名）となり次第、締め切りとさせていただきます。
なお、定員に達しない場合は、当日も受付を行いますので、直接事務局へお問い合わせください。
開催日までに定員に達した場合、受付に漏れた方にのみ、ご連絡を差し上げます。

詳細は、日本学術会議の以下のホームページを御覧ください。
(<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf/24-s-k.pdf>)

事務局からのお知らせ

9月15日（金）より企画課選考係（旧会員候補者等選考事務局）が、事務局庁舎の2階から4階（405号室）へ移動し、それに伴いFAXの番号が変更になりましたのでお知らせします。

企画課選考係

FAX 番号 : 03 - 3403 - 6224

なお、ダイヤルイン電話番号、メールアドレスに変更はありません。

ダイヤルイン : 03-3403-1081

E-mail : as258@scj.go.jp

日本学術会議ニュースメールは、日本学術会議第20期会員・連携会員、日本学術会議協力学術研究団体に配信しています。転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、事務局（p228@scj.go.jp）まで御一報いただければ幸いです。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34